

議会が、 学び場になった夏。

夏休み「議会自習室」を初開催！



議会自習室

～議会をもっと身近に～

夏休みの期間中、中学生を対象に「議会自習室」を開設。普段はなかなか入ることができない議会の会議室が、学びの場となりました。

定例会

町営バス(岡山医療センター線)料金の改定 2

一般質問

ここが聞きたい「へそ8バス 手荷物の基準は」..... 5

ピックアップ

【視察報告】委員会が行く! 14

町営バス(岡山医療センター線) 料金の改定

9月定例会

9月定例会は、9月1日から17日までの17日間にあたって開会されました。

町長から条例改正2件、報告1件、令和7年度会計決算の認定(一般・特別、上水道事業、下水道事業)、令和8年度一般会計及び特別会計補正予算の上程及び諮問・同意各1件(人権擁護委員候補者の推薦、教育委員会委員の任命)などの議案が上程、最終日には請負契約の締結1件が追加上程されました。決算認定の3議案は、設置された決算特別委員会に付託され、その他の議案などは、審議の結果、原案どおり全会一致で可決・承認されました。

一般会計補正予算

第3号補正予算は、歳入歳出それぞれ3億1875万3千円を増額し、総額106億2931万2千円。

主な内容は、中山間地域等直接支払制度事業交付金、災害復旧工事など。

主な質疑

Q 災害復旧工事のそれぞれの内容と箇所数は。要望箇所はすべて採択か。

A 農林関係は、農道1件、田2件。土木関係は、町道6件。すべて国庫事業に採択され、年度内完了予定。



豪雨による法面の崩壊

Q 乗合タクシー運行業務の増額の要因及び積算は。新規登録者の増加と、月平均の金額を勘案した。

補正予算(第3号)の主な事業

中山間地域等直接支払制度事業交付金	スマート農業加算取り組み団体の追加	1,080万円
農地農業施設災害復旧費	令和8年6月豪雨による災害復旧	2,130万円
土木施設災害復旧費	令和8年6月豪雨による災害復旧	3,290万円
財政調整基金の積立金	決算剰余金の1/2以上	1億5,900万円



岡山医療センター線

条例の改正（主なもの）

○吉備中央町自家用有償旅客運送に関する条例の一部を改正する条例

デマンド乗合タクシーの利用登録及び利用方法にかかる規定の新設。また、路線バスの運賃改定に伴い、町営バス（岡山医療センター線）の運賃（100円の値上げ）の変更。

請負契約の締結

○吉備中央町ふくし・まなびセンタ―（仮称）拠点化整備工事

契約金額…1億3145万円
相手方…総社市真壁123-3

株式会社風早

内容…旧下竹荘小学校施設へ、教育委員会、子育て推進課、包括支援センター、社会福祉協議会及び公営塾を移転するための整備をおこなう。

諮問

○人権擁護委員候補者の推薦

石井 俊美（上竹）

田村 豪一郎（上野）

小倉 孝男（案田）

任期は、令和9年1月1日から3年間。

同意

○教育委員会委員の任命

前田 文男（下加茂）

任期は、令和8年10月30日から4年間。

令和7年度決算 監査委員の意見

公共交通対策



デマンドタクシーの休日や夜間における住民のニーズに応じた安全で安価な移動の提供、ドライバー確保に向けた免許取得支援の検討。

ふるさと納税制度



事業運営における独自の資金調達や収入源の多角化、再指定に向けた取り組みや再開後の再整備。

健康影響調査



PFAS 血液検査の分析結果情報は、正確性を担保しつつ迅速な公開が必要。

道路の維持管理



通行者の安全を確保するため、枯松倒木による危険個所の把握と迅速な対応が必要。倒木撤去のコスト削減に向け、自治会などへの委託・連携の検討。

学校統合



通学バスの停留所環境や非常時の連絡体制など改善が必要。地域との交流の減少しており、連携の維持・強化が必要。

町の課題をしっかりと見てより良いまちづくりにつなげていきます！

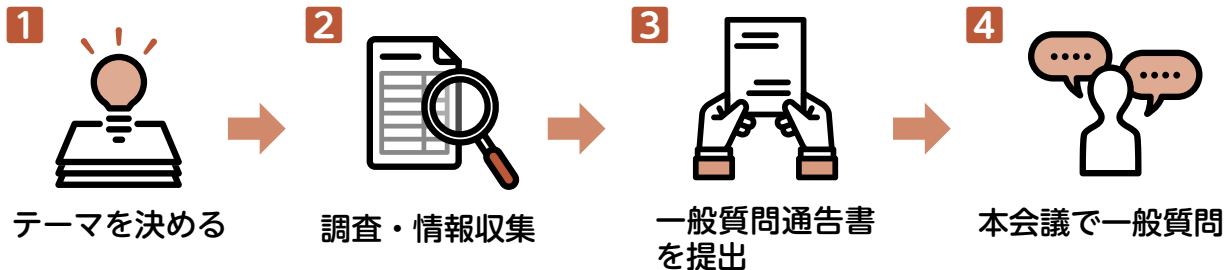


大木監査委員



議会豆知識

一般質問までの流れ



議会を傍聴しませんか？

本会議は一般に公開されていますので、誰でも自由に見たり、聴いたりすることができます。皆さんの日常生活に関係のある重要な問題が審議されています。

当日傍聴席入口で、傍聴人名簿に住所・氏名などを記入するだけで、事前に予約する必要はありません。



9月定例会に足を運んでくださった方のコメント

- 議場は緊張感が漂い、身が引き締まる思いがしました。
じっくりと聴くことができよかったです。町民のために細部におたりいろいろと考えてくださっているのがわかりました。傍聴者が少ないことにも驚きました。ぜひ参加されてはいかがでしょうか。
(遠部佐代子さん)
- 話し方は早口で聞き取りにくい。話し方の改善を望む。
旧小学校へ行政機能の移転に伴うメリットは何かあるのか、他の課へ行くにも不便さを感じる。
町管理の施設の老朽化に対する今後の計画がなされているのか。
3M(ムダ・ムリ・ムラ)をどの様にチェックしているのか。
良い質問が傍聴できませんでした。ありがとうございました。
(見尾保男さん)

9月定例会の傍聴者数 延べ9人

議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください

いつも「議会だより」をご覧いただき、ありがとうございます。

皆さまの声を紙面づくりやより身近な議会運営に活かしていくため、議会だよりに対するご意見・ご感想を募集しております。

ご意見・ご感想の送り方 Mail: gikai@town.kibichuo.lg.jp

いただいたご意見は、議会だよりの改善に活用し、可能な範囲で紙面にてご紹介させていただきます。

皆さまからの貴重なご意見・ご感想を心よりお待ちしております。



9議員が一般質問 ここが聞きたい

令和8年9月14日および15日

一般質問通告書 締め切り日 8月26日

わたなべ じゅんこ
渡邊 順子

Q

乗車持ち込み手荷物の基準は

A

今後、具体的な規定を作成

A 総務課長
回数券の販売状況は、100円券172セット、50円券47セット。一定の利用が進んでいると認識。デマンドタクシーでの車内販売も開始。今後利用の増加につながることを期待。乗り継ぎ券は31枚。今後、広報紙などで、わかりやすく周

Q
回数券と乗り継ぎ券の利用状況は。

A 早川総務課長
現在明確な基準は定めていない。国土交通省が示している持ち込み禁止の事例を参考に、安全面や利用者の利便性も考慮し、今後具体的な取り扱いを定めた規定の作成を進める。

Q
へそ8バス乗車の際、持ち込み手荷物の大きさや条件など、具体的に定められているのか。

A 総務課長
本格運行に移行する際、一日当たり10人の利用者数を目標に掲げている。運転手不足が深刻化している中で、土日祝日の運行まで拡大することは、運転手の確保や働き方改革への対応などを考慮すると難しい。

Q
土日祝日の運行希望が多くある。前向きな検討がなされているのか。また、本格運行をどのように見据えているのか。

知し、利用促進につなげていきたい。



へそ8バス

Q
ライドシェアの見通しと、デマンドタクシー・へそ8バスの役割分担は。

A

総務課長

ライドシェアは、地域の移動手段の一つとして、活用が広がっていく可能性があると考え。導入は、今年度研究する。デマンドタクシーやへそ8バスは、一定の利用実態があり、地域住民の移動手段として重要な役割を担っている。ライドシェアの導入拡大をもって直ちに既存の公共交通を置き換えるものではないと考えている。役割分担は、研究結果を踏まえて検討していく。

他、旧津賀小学校及び旧下竹荘小学校への移転の質問をした。



まるやま せつお
丸山 節夫

Q 要件緩和で移住定住促進を

A 最大限、柔軟な対応を図る

Q 現行の定住促進条例(奨励金制度)は、いずれも年齢制限や世帯構成、申請期限が付されている。社会情勢に即応した構造的課題の検証や、制限の見直しに対する町の対応を問う。

A 岡田副町長
法令・条例の許す範囲で、住民の利益を第一に、最大限柔軟な対応を図る。今後の見直しは、総合政策会議にて過去の実績、成果の検証を含めた事業との総合調整や、将来に向けた財政規律を勘案し、慎重に検討を進める。

Q 地域コミュニティ支援の現状と、行政が担うアフターケアの必要性と対策を問う。

A 副町長
地域とのつながりや関係づくりが、不安や孤独感に対する一番の対処法と捉える。今後は、移住支援団体と連携し、訪問や

アンケート調査の実施など、きめ細やかな対応に努める。

高齢者福祉対策
(日常生活支援事業)

Q デマンドタク
シー利用に対する課題点(事前予約制と土日祝祭日の運行休止制限)見直しの必要性を問う。

A 早川総務課長
デマンドタクシー事業は、日常の移動を支援することを目的とし、利用者の利便性向上を図る一方で、効率的な乗り合い、運行により運転手不足や財政負担の抑制を図っている。今後は、利便性と運行体制の両面を考慮し、適切な運行方法の検討を進める。

Q デマンドタク
シー利用の増加に伴う財政負担と事業の持続可能性を問う。

A 副町長
デマンドタクシー利用の増加に伴う財政負担と事業の持続可能性を問う。

A 総務課長
財政負担は、運行経費の増額に伴い、増加傾向にある。今後、利用者負担のあり方や乗り合い率の向上など、財政負担の抑制と利便性の確保を両立しながら、持続可能な公共交通構築に努める。

Q 買い物支援サービス配送料の無料化終了(今年12月)に関し、来年1月からの有料化が検討されている。有料化に伴う利用者離れと事業者の持続可能性を問う。

A 大塚企画課長
現在、適正な価格設定や必要な法令上の手続きを進めている。住民の利便性と地域事業者の事業継続の両立を目指す。

Q 配食サービス事業継続の課題点と今後の方針(交通移動、買い物、配食、見守り)の庁内連携を問う。

A 古林福祉課長
昨今の物価高騰による食料費の高騰や、人件費の増加が懸念される。配達コストの適正な価格設定により担い手確保と、持続可能な事業運営に努める。庁内では、横の連携を図り持続的、効果的な支援に取り組む。



高齢者への配達

A 山本町長
交通、買い物、配食サービスの他にも必要なサービスを提供する事業は多くある。満足のいくサービスに対し、財政率を伴うが、今やっている中でも、より必要なものを手厚く、将来をしっかりと見据え町政運営を進めていく。

たかもり 高森
まなぶ 学

Q 国県道の通学路安全対策を

A 県に対しさらに強く要望する

Q 国県道は岡山県による管理がなされており、年に1回の草刈がおこなわれている。

春ごろからは草木が繁茂し、国道であっても道路幅が狭小な所は、大変気を遣う状況である。道路側溝では堆積物により、雨天時においては排水があふれ大雨時には危険な状況である。交通安全の観点から町長の意見は。

A **山本町長**
年1回の定期的な草刈りでは、十分な安全性が確保できているとは言い難い。町民の方からの通報により危険箇所を把握した場合は、県に対して緊急の草刈りなどを要望し迅速な対応を求めている。今後

も草刈りの回数増や計画的な側溝清掃の実施など、維持管理体制の強化を県に対し強く要望していく。また、県との情報共有を緊密におこない、危険箇所の早期発見、解消に努める。

Q 小中学校生の通学はスクールバス

で通学している児童生徒以外は、徒歩や自転車による通学である。徒歩などで通学している児童生徒の安全通学の観点から教育長の意見は。

A **石井教育長**
歩道の幅が狭い場所などには、看板を設置するなどの対応をしている。しかし草木の成長が著しい時期においては通学路の安全確保の観点から、十分ではないと認識している。見通しが悪い箇所や、危険が生じる箇所においては、迅速な対応がなされるように担当課を通じて、安全安心のため県民局などにさらに強く働きかける。

Q 各小学校及び中学校の児童・生徒のうち、徒歩及び自転車

で通学している児童・生徒はそれぞれ何人か。

A **中山教育委員会事務局長**
加賀中学校で自転車通学が12名、徒歩などが8名。小学校では徒歩などが、加賀東小学校が40名、加賀西小学校46名、加賀南小学校が117名。

Q 年2回の草刈りを、県に対し強く

要望することは基本であるが、年2回の草刈りのうち1回の草刈りを、通学路だけでも町で実施はできないか。

A **町長**
全般的に年1回の草刈りでは追いつかないということは誰の目で見てもわかる。年2回のうち1回を町が草刈りをおこなうことは、町管理の道は多数あり延長も長く財政的にも難しい。しかし、危険箇所を放置するわけにはいかないので、いろいろな方法を検討はするが、まず

は県に対して年2回の草刈りを実施するよう強く要望していきたい。



草刈り後2カ月経過



歩道を覆う草木

Q ペットの同行避難は可能か

A スペースの確保を検討



かわかみ まちこ
河上真智子

Q 災害発生時のペットの同行避難場所の整備は、車中泊などによる心身の負担軽減のためにも必要である。また、他の避難者と区別しながらも、飼い主がペットの世話ができる場所も必要である。現状はどうか。

災害発生時のペットの同行避難場所の整備は、車中泊などによる心身の負担軽減のためにも必要である。また、他の避難者と区別しながらも、飼い主がペットの世話ができる場所も必要である。現状はどうか。

A 早川総務課長

町の防災計画では、避難場所での被災ペットのためのスペースの確保に努めるとしているが、具体的な受け入れ方法や取り扱いが明記していない。今後、飼育場所の確保やルール、衛生管理などは町地域防災計画及び避難所マニュアルへの位置づけを含め検討していく。

Q 避難所のどのような場所が飼育場所として適切であると考えているか。

A 総務課長

一般的には、避難者の居住スペースや生活

動線とは区別し、状況に応じて選定される。避難者への配慮とともに、適切なペットの飼育環境への配慮も必要と考える。今後、各避難所の事情に応じて、受け入れスペースとして活用し得る場所を確認するとともに、自治会や自主防災組織及びペット飼育者などの意見も踏まえ、実効性のある運用を検討していく。

動線とは区別し、状況に応じて選定される。避難者への配慮とともに、適切なペットの飼育環境への配慮も必要と考える。今後、各避難所の事情に応じて、受け入れスペースとして活用し得る場所を確認するとともに、自治会や自主防災組織及びペット飼育者などの意見も踏まえ、実効性のある運用を検討していく。



ペット避難への備え

町内の移動手段

Q

町外に通学する高校生もまた交通弱者である。学生の利便性

と安全確保、家族の送迎の負担軽減のためにもデマンドタクシーの運行時間の延長ができないものか。

A 総務課長

デマンドタクシーの対応時間の延長は、各事業者の対応の可否や費用面、延長する時間帯における需要や乗り合いの可能性などを踏まえて検討する必要がある。対応時間の延長も視野に、地域の実情に応じた交通手段を模索していきたい。

Q 来年度から吉備高原学園高校への町内の学生限定の通学制が始まる。しかし、通学に適した公共交通がない。そこで、中学校のスクールバスに混乗させてもらい、中学校と高校の間は高校の車両での送迎という対応はできないものか。

A 中山教育委員長

原則的には、学校法人が

対応するものではないかと考えている。しかし、交通手段の乏しい本町において、長期的な視点で持続可能な通学環境を整えていけるように検討をしていきたい。

A 山本町長

課題は様々あるが、中学校の意見も聞き、協議を重ねて良い方向が出ればとてもいいと思う。

Q 町内の公共交通は、土日祝日の運行がない。イベントなどに参加できないという意見も多く聞かれる。交通空白期間を補う「日本版ライドシェア」の導入はどうか。

A 総務課長

ドライバールの確保や、安全な運行管理が課題であると認識している。また、導入後の費用分担を含めた持続可能な仕組みの検討が必要であると考えている。

他、2027年度介護保険法改正の質問をした。

くろだ かずゆき
黒田 員米

Q 地域機能をどう守る

A 地域連携で支え合う



地域の道づくり作業

Q 人口減少、高齢化が進む中、草刈り、水路管理、防災、見守りなど、地域で維持できない機能を持てず、自治会の枠を超えて支える仕組みが必要では。

A 早川総務課長

これまで一つの地域で担ってきた活動を、同じ形で維持することが難しくなる地域が増える認識している。複数の自治会や地域団体が連携し、草刈りや環境整備の共同実施、地域行事の合同開催、見守り活動などを地域全体で支え合う仕組みが重要であ

る。小規模多機能自治や地域運営組織も有効な選択肢の一つとして考えられる。地域の状況に応じた伴走型支援に努める。

行政判断の根拠を明確に

Q 申請や相談への判断が担当者によって異なることがないよう、行政判断の透明化と説明責任を徹底すべきでは。

A 総務課長

担当者個人の判断に委ねるのではなく、法令、条例、規則、要綱、過去の取り扱いなどを確認し、組織として対応する。判断に違いが生じた場合は、関係課や所属長で調整し、必要に応じて町長などの決裁を受け、町としての方針を明確にする。判断過程も記録に残す。不許可、不承認など住民に不利益となる判断は、根拠や理由を分かりやすく説明し、求め

があれば可能な限り文書で回答する。判断基準や手続きの「見える化」を進める。

Q 「協働で開く新たなまちづくり実践事業」で、主催者の配偶者への謝金を補助対象外としたが、配偶者を団体構成員とする明確な規定はあるのか。

A 大月協働推進課長

補助金交付規則には、明確には示されていない。今回の判断は補助金の公益性、公平性を考慮して判断した。今後、同様の案件で齟齬が生じないように、これまでの経緯を生かし、内規として整理していきたい。

A 山本町長

今回のように齟齬が生じているのであれば、現状に即すよう、規則・要綱などの改定も検討しなければならぬ。まずは、現状に準じているかを確認し、今後、問題をなくすた

め検討・研究していく必要がある。

公共施設の将来負担は

Q 人口減少を踏まえ、公共施設の適正配置をどのように進めるのか。

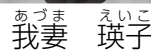
A 総務課長

建物の維持修繕などには年間約3〜4億円を見込む。対象施設のうち7施設は、解体、賃貸借、集約化などの方向性が決まり、3施設は未定である。

A 町長

活用できるものは活用し、難しい場合は最終的に撤去する。全てを同時におこなうことは多額の費用が必要となるため、撤去する年次計画を明記した上で実施したい。

A 町 全 体 で 58 名



A 福祉課長
個別避難計画を
策定しているが、特に福祉
避難所利用者数として人数
は把握していない。

A 人数は要配慮者が600人程度ということなので、一応1割と言えると思う。

① 高校生の通学には保護者による送

外国人労働者

人口あたりの
外国人割合が3・
4%と岡山県内で2番目に
多い本町において、外国人
労働者、外国人技能実習生
との共生社会の推進をどう
展望しているか。

迎が基本的に必須であり、通学以外においても自分で動くことが困難である。へそ8バス、デマンドタクシーの運行は平日の朝夜、土日はない。中高校生が利用可能な運行を検討してはどうか。

②以前の議会で同僚議員より、運行時間の住み分けの考えはないかという質問があったが、検討はされていないのか。

大月協働推進課長

A **早川総務課長**

①土日祝日の運行まで拡大することは、運転手の確保や働き方改革への対応などを考慮すると難しい。

②検討は今のところ、おこなっていない。

の、日本人学習サポートとの交流や、国際化推進協会主催の交流カフェハツピーパーティーなどにおける交流など、理解を深めていける場を設けている。今後もこうした活動を通して、支援を続けていきたい。



地域への外国人
日本語を
交流します

令和8（2026）年度 後期

たれても
OK

きびちゅうおう にほんごきょうしつ

日本語学習サポーター募集

定員
10名

AM10:20集合
AM10:30開始 PM12:20終了

参加費
無料

<div style="text-align: center;"> <h3>ロマン高原かよう 総合会館</h3> <p>2F 女性青年活動室</p> <p><small>滋賀県彦根市高根町吉田880-6</small></p> </div>	<div style="text-align: center;"> <h3>きびプラザ</h3> <p>1F 第1会議室</p> <p><small>京都府京都市中京区吉田880-6</small></p> </div>
<p>9/13 (日)</p> <p>11/29 (日)</p> <p>(2027) 1/31 (日)</p>	<p>10/25 (日)</p> <p>12/13 (日)</p>
<p>MAP</p> 	<p>MAP</p> 

どなたでも、いつでも、
参加できます

主催：「国語交流」実行委員会
後援：日本国政府・大阪府・滋賀県・彦根市・彦根商工会議所（敬称略）
協賛：彦根市立中央図書館・彦根市立図書館・彦根市立総合文化センター
協力：彦根市立中央図書館・彦根市立図書館・彦根市立総合文化センター
〒520-0811 彦根市中央1-1-1
TEL 057-771-1891（FAX 057-771-1892）
mail ちゅうおう@city.hikari.lg.jp



https://forms.office.com/Forms/RegistrationForm-2026
申込みはここから
※お申し込みは、お申し込み期限まで
彦根市立中央図書館にて受け付けています。

主催：「国語交流」実行委員会
後援：日本国政府・大阪府・滋賀県・彦根市・彦根商工会議所（敬称略）
協賛：彦根市立中央図書館・彦根市立図書館・彦根市立総合文化センター
協力：彦根市立中央図書館・彦根市立図書館・彦根市立総合文化センター
〒520-0811 彦根市中央1-1-1
TEL 057-771-1891（FAX 057-771-1892）
mail ちゅうおう@city.hikari.lg.jp



申込先：彦根市立中央図書館
〒520-0811 彦根市中央1-1-1
TEL 057-771-1891（FAX 057-771-1892）
mail ちゅうおう@city.hikari.lg.jp

日本語教室開催中



日名 ゆか

Q エアコン購入への支援は

A 県の補助制度の活用を促す



賀陽庁舎 1 階のクーリングシェルター

Q 高齢者などクーリングシェルターへの移動が困難な方の暑さ対策への考えは。

A **難波保健課長**
クーリングシェルターも涼しい場所であり、防衛策の一つ。移動が困難な方は、各家庭で涼しく過ごせる場所を確保することが、安全と健康を守るために必要。

※クーリングシェルターとは、熱中症による健康被害を防ぐため、暑さをしのぎ、休憩できる場所として自治体が指定した施設。

Q 高齢者世帯などへ、エアコンの設置や省エネ機種への買い替えを支援できないか。

A **古林福祉課長**
エアコン購入への支援は、町独自のエアコンの新規設置や買い替えに対する助成制度の創設は、公平性や財政面の課題もあり、現状実施する考えはない。岡山県では、省エネ家電購入住宅断熱リフォーム応援キャンペーンとして、エアコン購入に対する補助事業が実施されている。引き続き、高齢者世帯やご家族に対して、暑さ対策としてエアコンなどの必要性を訴えていくとともに、必要に応じて県の補助制度を伝えていく。

おかやま省エネ家電購入
住宅断熱リフォーム
応援キャンペーンサイト



これからの
役場の窓口のあり方

Q 本庁舎および各支所の時間帯ごとの窓口の利用状況は。特に開庁直後と閉庁前の窓口利用状況は。

A **宮田住民課長**
午前8時30分から9時までは比較的穏やかな人の流れで、午後4時30分から5時15分までは、朝の時間帯に比べて来庁者が多い。曜日による違いもある。特に週明けの月曜日は来庁者が多く、窓口が混み合う傾向がある。また、週末にかけては各種手続きの期限などによる駆け込みの来庁者が増える傾向にある。

Q 利用実態や職員業務状況を踏まえ、窓口時間を見直す考えは。

A **住民課長**
町民の皆さまの要望や利用状況、職員の業務状況を十分に勘案しながら、検討していく。

現在、要予約制ではあるが、水曜日の延長窓口・月1回の休日開庁（マイナンバー申請・受け取りのみ）、コンビニ交付サービスも実施している。

Q 役場に行かずに手続きが完結するオンラインでの行政サービスを拡充できないか。

A **大櫻企画課長**
今後、「行かない窓口」の導入に向け、年間申請件数が多いもの、待ち時間が長いもの、複数回の来庁が必要なものなど、オンライン化による効果が高い手続きを洗い出し、関係各課と連携しながら、実現可能なものから前向きに検討していく。



やまさき まこと
山崎 誠

Q 見直しが賢明ではないか

A 移転は予定どおり進める

Q 旧津賀小学校へは加茂川総合事務所などの移転が予定されている。施設整備はどの程度進んでいるか。

A 岡崎加茂川総合事務所長

令和9年度中に工事を完了し、移転する予定である。

Q 当初予算では3億円余が計上されている。この金額には、加茂川庁舎内に設置されている光ファイバー中枢設備の移転費用は含まれているか。

A 加茂川総合事務所長

含まれていない。追加で715万円程度必要になる。

Q 4月の委員会で、将来の利用者見込みを立てているか尋ねた。立っていないとの答えだった。見込みも立っていない計画はさんではないか。

A 加茂川総合事務所長

現在の利用件数が継続すると考えている。将来的なシミュレーションはしていない。

Q 吉備高原都市内に商業施設など新たな複合施設を作る計画が進んでいる。将来負担の視点からも、この複合施設に機能を集約し、旧津賀小学校への3億円余の投入による移転計画は、大胆に見直すべきではないか。

A 山本町長

今、吉備高原都市に計画している施設は、町民要望の強い買い物環境の整備である。旧津賀小学校への移転は、加茂川庁舎の耐震性の問題と地元要望を勘案して決断した。

Q 旧下竹荘小学校、なぜ入札不調に

A 7月17日におこなわれた旧下竹荘



旧津賀小学校

小学校の施設改修工事の入札が不調となった。理由は、

A 中山教育委員会事務局長

町の設定した価格に対して参加事業者の入札価格が上回ったため。9月11日、改めて入札を実施し落札された。落札額は消費税込みで1億3145万円である。

Q 工期の遅れが心配される。移転は予定どおり進むのか。

A 教育委員会事務局長

令和9年4月1日に業務開始ができるよう準備している。

Q 社会福祉協議会（以下社協）も移転予定となっている。現在、社協が指定管理を受けている5施設の維持管理は、社協移転後どうなるのか。

A 古林福祉課長

今のところ継続して社協に指定管理をお願いしたいと考えている。

倒木による事故の補償責任は

Q 道路管理者である町の瑕疵によって、物損、人身被害が発生した場合、賠償責任は過失割合により国家賠償法に基づき判断される。町側にすべての責任がある場合、100%の賠償責任があると考えがどうか。

A 早川総務課長

いろいろな判断があるが、道路管理に全面的に落ち度があった場合は、町が責任を負う。



ひらさわ かずひろ
平澤 一浩

Q

第3次総合計画でどうなる

A

「ワクワク感」のある吉備中央町

Q

第二次総合計画の成果は。

A

山本町長

①自治組織の名称・組織を統合し、町の一体感づくり

②自主防災組織の立ち上げ

③高校の学区が岡山学区・高梁学区に分かれていた状況を解消

④企業誘致、就業の場を確保

⑤子育て環境を整備（キッズパーク開設、公営塾開設、18歳までの医療費無料化、学校給食無償化）

⑥小学校9校を3校に統合

⑦認定こども園・学童保育を整備

⑧小・中学校の施設整備

Q

第二次総合計画の課題は。

A

町長

①人口減少・少子高齢化への対応

②地域コミュニティの維持

③公共交通の充実

④買い物環境の充実

⑤教育・医療環境の維持・充実

⑥必要な施設の統廃合・集約と、町全体の暮らしやすさの両立

⑦「賢い収縮」やコンパクト化だけではなく、将来への明るい展望・活力を生み出すこと

⑧吉備中央町独自の価値・魅力の創出

⑨デマンド交通や岡山への直通バスなどは整備されているものの、利用度がまだ低い

Q

町長が描く「10年後の姿」、「ワクワクする町」とは。

A

町長

①自然豊かな環境を生かしたまち

②デジタル技術を活用し、都市部と同等のサービスを受けられる

③心豊かに安心して暮らせるまち

Q

喫緊の課題は。

④「ずっと住み続けたい」と思えるまち

⑤吉備中央町独自の価値・魅力があるまち

⑥特区事業を活用し、新しく取り組むまち

⑦自動運転の車が走り、ロボット・AIなど先端技術を活用するまち

⑧買い物した商品が自動的に自宅に届くまち

A

町長

①買い物環境（町内で十分な買い物サービスを受けられる環境づくり、吉備高原都市への買い物環境を中心とする複合施設）の拠点は、10年かけるのではなく、4～5年程度で完成を目指す

②公共交通（デマンド交通、岡山への直通バスなど）は、まだまだ途上であるが、さらなる利用を促していく。



まちの最上位計画

民生教育常任委員会

7月15日～16日

視察報告

地域の力を生かす、持続可能な町づくり

南あわじ市(兵庫県)

高齢者の経験や意欲を地域で生かす仕組み



💡 ここが参考に！

- ✓ 高齢者の経験を地域の力に
- ✓ 就労・ボランティア・学びの一体的支援
- ✓ 住民同士の支え合いの仕組み

高齢者の就労・ボランティア・学びをつなぐ取り組みを学びました。

住民同士の支え合いで、高齢者が地域でいきいきと活躍できる仕組みが整っていました。

上勝町(徳島県)

住民が主役の持続可能な地域づくり



💡 ここが参考に！

- ✓ ゼロ・ウェイストの考え方
- ✓ 住民主体の地域づくり
- ✓ 楽しみながら参加できる仕組み

ゼロ・ウェイストのまちづくりや、住民が楽しみながら参加できる環境づくりを学びました。行政だけでなく住民が主体となり、ごみを減らしながら地域の資源を生かす取り組みが印象的でした。



吉備中央町にどう生かす？



高齢者が活躍できる場づくり
これまで培ってきた経験や技能を生かせる仕組みづくり



ごみを減らすまちづくり
行政と住民が一緒に考え、地域全体で持続可能な取り組み



住民が楽しみながら参加できる地域づくり
一人ひとりが地域のためにできることを見つけられる環境づくり

※ゼロ・ウェイストの取り組みとは…無駄や浪費をなくし、「ごみを生み出さない」暮らしを目指す考え方や取り組みのこと

総務産業常任委員会

7月30日～31日

視察報告

買い物できる場所を、どう守る

美郷町(島根県)

住民の声から生まれた商業活性化の拠点



施設の概要

- ✓ 公設民営型
- ✓ 年間約40万人の利用を想定
- ✓ 事業費約23億円
- ✓ スーパー・産直市・飲食店・幼児向け屋内遊具施設など

令和10年度の開業を目指す「商業活性化・賑わい拠点施設」を視察しました。町民・商工会・自治会の要望をきっかけに立案され、スーパーや産直市、飲食店、幼児向け屋内遊具施設などを備える「にぎわいの拠点」となる施設です。

北広島町(広島県)

DXで役場の仕事を変える



💡 ここが参考に！

- ✓ DX加速化戦略の考え方
- ✓ 情報漏えいのリスク管理
- ✓ 職員のパソコン管理
- ✓ 行政サービスのデジタル化の推進

「DX加速化戦略」の研修をおこないました。職員のパソコン管理や情報漏えいリスクの管理、AI道路施設点検事業など、デジタル化に向けた具体的な取り組みを学びました。



吉備中央町にどう生かす？



買い物環境の確保
町民の暮らしを支える、商業施設のあり方を検討



人が集まり、交流が生まれる拠点づくり
買い物だけでなく、子育て世代や高齢者も利用できる、にぎわいの場づくり



デジタル化による行政の効率化
情報管理の強化や、住民サービスの向上

広報委員会

8月5日～6日

研修報告

伝わる議会だよりで、もっと身近に！

～他の自治体の取り組みから、よりよい広報を目指して～

大刀洗町(福岡県)

住民の声を生かした議会だより



- ✓「読みたい」と思える紙面づくり
- ✓住民の皆さんからの意見・質問を取り入れる工夫
- ✓議会の活動が地域に伝わる仕組み

須恵町(福岡県)

分かりやすく親しみやすい紙面づくり



- ✓写真や余白を効果的に使い、見やすい紙面
- ✓専門的な内容をやさしく表現
- ✓「議会が伝えたいこと」だけでなく、「住民が知りたいこと」も掲載



吉備中央町にどう生かす？



町民の声を生かす

住民の疑問や関心を取り入れた紙面づくり



分かりやすく、手に取りやすく

写真や余白を工夫し、読みやすいレイアウト



より身近な情報発信を

議会の活動を分かりやすく伝え、関心を持てる

デジタル化特別委員会

8月7日

救命救急士によるエコー検査、承認見送りに

①救急救命士による超音波検査の実施（エコー事業）

搬送中の救急車内において、医師の指示のもとで救急救命士が超音波検査を実施できるよう、内閣府及び厚生労働省に対して法令改正を求める提案を令和4年度に提出した。令和8年7月現在、承認は得られていないものの、町内での実証に向けた安全性の検証や、厚生労働省及び関係団体などとの議論を継続していることが報告された。



エコー事業の実証

②看護師等への検査指示の明確化（遠隔採血事業）

検体検査を伴う通院負担の軽減と、効率的な検体回収体制の構築を目的として、内閣府及び厚生労働省に対し、遠隔での採血の実施可否に係る明確化を求める提案を令和5年度に提出した。訪問看護の枠組みの活用も一案とすることについて、厚生労働省との議論を継続していることが報告された。

③吉備中央町デジタル田園都市推進事業（交付金事業）

「きびアプリ」登録者数は3,319人（令和8年6月末現在）である。交付金事業により整備した事業のランニングコストは町単独負担であり、令和6年度が7,300万円余、令和7年度が6,650万円余、令和8年度が6,400万円余である。このうち、令和8年度については、買い物支援や暮らしなんでも相談などの対応に係る「インクルーシブスクエア」スタッフの人件費が2,470万円であることが報告された。また、救急搬送に係る「コード Kibi」システムの拡充や、デバイスデータの活用による保健指導サービスの実装などについて、令和7年度に交付金による整備を実施したことが報告された。

議会自習室

学びの場をつくるって、いいね!

生徒コメント

ようこそ
議会自習室へ

丸山 石井 黒田 片岡 山崎 河上 西山 渡辺 高森 我妻 日名

中学生のみなさん
ようこそ!!!
感想を書ければ
残ってね ⑤
集中して勉強が
できるね!

この町の魅力は
勉強するところが
多いことへ
気づいてほしいね!!
そして、いい空間だね!!

勉強が
はじまりました。
スマホは人の知らぬ!
のちのちできた!

習室
めっちゃ快適!!
THANK YOU!!
2つ課題終わった!!
いい話をしてもらったから
また来よう!!

NHKが来てくれて!!

議長コメント



より開かれた議会を目指し、これまでにない新たな取り組みを一步步進めることができたことは、大きな成果だと感じています。
(西山宗弘)

校長コメント



自分を見つける場所
議会自習室という第3の居場所は、生徒たちに安心感を与え自立を促すだけでなく、議員さんという「斜めの関係」の大人との出会いを通じて、将来の選択肢を広げる大きな契機となったと感じます。子どもたちの未来を育む温かい居場所を提供して下さった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。
(田野利昭)

町の一コマ



稲刈り



加賀中
笑輝祭



編集後記

実りの秋を迎え、朝夕には心地よい風を感じる季節となりました。

この夏は「議会自習室」を開催するなど、議会をより身近に感じてもらうための新たな取り組みも始まりました。こうした一歩が、議会に関心を持っていただくきっかけになればと思います。

議会だよりも、町民の皆さまと議会をつなぐ架け橋の一つです。「ちょっと読んでみよう」と手に取っていただけるよう、皆さまに伝える、親しみやすい紙面づくりにこれからも取り組んでまいります。

(日名 由香)